

# 自己免疫性膵炎臨床診断基準2018の検証

## 1. 研究の対象

2020年4月～2021年3月の間に厚生労働省難治性疾患研究班班員(IgG4関連疾患の診断基準並びに診療指針の確立を目指す研究班)、日本膵臓学会膵炎調査委員会自己免疫性膵炎分科会委員の所属する施設にて自己免疫性膵炎もしくはその疑いと診断された方。

## 2. 研究目的・方法

自己免疫性膵炎は、1995年に日本から発信された疾患概念です。自己免疫性膵炎の診断基準は、日本膵臓学会が2002年に世界で初めて作成しました。以後2006年、2011年と日本膵臓学会と厚労省難治性疾患研究班とが合同で定期的に改定を繰り返し、2018年自己免疫性膵炎臨床診断基準2018が最新のものです。診断基準作成から3年以上が経過し次の改定の準備に入る必要がありますが、いまだこの診断基準について多施設では検証されていません。

今回厚生労働省難治性疾患研究班と日本膵臓学会膵炎調査委員会自己免疫性膵炎分科会の施設に通院する症例に対して、自己免疫性膵炎臨床診断基準2018を検証し、次の診断基準の改定に向けて問題点を明らかにすることが目的です。

研究期間は、高知大学医学部倫理委員会承認後2024年3月31日までです。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 診断基準に該当する症例の数、診断できなかった理由 等

## 4. 外部への試料・情報の提供

個人が特定される情報(氏名、IDなど)を含まないデータを高知大学に送ります。

## 5. 研究組織

高知大学医学部 消化器内科学 内田一茂

以下別紙のとおりです。

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

高知大学、高知医科大学に関する方

高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部 消化器内科学 内田一茂

電話 088-880-2338

それ以外の別紙に含まれる施設に通院中の方  
かかりつけの診療科の主治医にご相談ください。

研究責任者：

高知大学医学部 消化器内科学 内田一茂

別紙 共同研究者

東京都立駒込病院	院長	神澤 輝実
東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野	教授	正宗 淳
京都大学医学研究科 消化器内科学講座	教授	妹尾 浩
帝京大学医学部 内科学講座	教授	田中 篤
慶應義塾大学 消化器内科	専任講師	岩崎 栄典
神戸大学大学院医学研究科内科学講座 消化器内科学分野	教授	井戸 章雄
札幌医科大学医学部 消化器内科学講座	教授	仲瀬 裕志
自治医科大学内科学講座 消化器内科学部門	講師	菅野 敦
山下病院 消化器内科	医療参与	乾 和郎
名古屋市立大学大学院 地域医療教育学	教授	大原 弘隆
東京女子医科大学八千代医療センター 消化器内科	教授	西野 隆義
国際医療福祉大学教授 福岡山王病院 肝胆膵内科・神経内分泌腫瘍センター	教授	伊藤 鉄英
国立病院機構九州医療センター 消化器内科	医長	河邊 顕
長野県立木曾病院	院長	浜野 英明
慶応義塾大学医学部 坂口記念 システム医学講座	特任教授	洪 繁
昭和大学医学部 内科学講座消化器内科学部門	教授	吉田 仁
関西医科大学 内科学第三講座	准教授	池浦 司
東京高輪病院 消化器内科	部長	平野 賢二
愛知県がんセンター中央病院 消化器内科部	医長	水野 伸匡
近畿大学医学部 消化器内科	准教授	渡邊 智裕
横浜市立大学附属病院 内視鏡センター	教授	窪田 賢輔
信州大学医学部 消化器内科	教授	梅村 武司
東京女子医科大学消化器内科	教授	清水 京子
北野病院 消化器内科	副部長	栗山 勝利
北アルプス医療センターあづみ病院 消化器内科	部長	村木 崇
長野赤十字病院 消化器内科	副部長	伊藤 哲也
飯山赤十字病院 消化器科	部長	渡邊 貴之
JA 尾道総合病院	院長	田妻 進
東京医科大学 消化器内科	教授	糸井 隆夫
順天堂大学大学院医学研究科 消化器内科学講座	教授	伊佐山 浩通
獨協医科大学 消化器内科	教授	入澤 篤志

福岡大学筑紫病院 消化器内科

国立病院機構 千葉医療センター 消化器内科

藤田医科大学病院 消化器内科

教授 植木 敏晴

統括診療部長 多田 稔

教授 廣岡 芳樹